

# 東日本の中核都市構想

## 目指すべき方向性

本市は、東北・上越新幹線等の鉄道の結節点である大宮駅を有し、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺には広域的な商業・業務機能や文化交流機能等が集積している。今後、バスターミナルの整備や高速道路へのアクセスルートの整備、地下鉄の延伸などにより、交通利便性を更に高め、多様な面から交通の要衝としての役割を担っていきます。

これらの交通体系の整備と連動して、本市の都心・副都心地区の立地特性や歴史的背景を活かしたまちづくりを進め、それぞれの地区が連携して広域的な都市活動の交流拠点を形成し、国内外と積極的に交流する、活力ある東日本の中核都市を目指します。

## 施策名

- |                                 |                           |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1 首都高速埼玉大宮線の延伸、首都高速埼玉新都心線の延伸の促進 | 9 大門町2丁目中地区再開発の推進         |
| 2 長距離バスターミナルの設置                 | 10 大宮駅西口開発                |
| 3 空港へのアクセス強化                    | 11 大宮駅東口北側開発              |
| 4 地下鉄7号線の延伸                     | 12 駅周辺都市計画道路の整備促進         |
| 5 LRTの検討推進                      | 13 与野本町駅周辺まちづくりマスタープランの策定 |
| 6 大宮駅グランドセントラルステーション化構想         | 14 岩槻まちづくりマスタープランの推進      |
| 7 浦和駅西口再開発の推進                   | 15 さいたま新都心将来ビジョンの策定及び推進   |
| 8 大宮区役所の建て替え                    | 16 浦和美園地区のまちづくり           |

首都高速埼玉大宮線の延伸、首都高速埼玉新都心線の延伸の促進					建設局 土木部 道路計画課	現在の状況							
<p><b>【取組概要】</b>            ①地域高規格道路の計画路線(整備区間)となっている首都高速埼玉大宮線、また地域高規格道路の候補路線となっている首都高速埼玉新都心線の延伸について、早期事業化路線となるよう引き続き国に働きかける。            ②首都圏渋滞ボトルネック対策協議会においてワーキンググループを設け、渋滞対策としての高速道路ネットワークの必要性を検討する。</p> <p><b>【目指すもの】</b>            ①②関係機関と連携し、早期事業化を目指す。</p>							<p>(1)首都高速埼玉大宮線の与野ジャンクションから圏央道までの延伸について、国への要望を行うとともに、国や県と連絡会議を開催し、事業時期、事業主体及び費用負担等について協議を開始した。</p>						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～							
(1)首都高速埼玉大宮線の与野ジャンクションから圏央道までの延伸	<p>・早期事業化路線となるよう国に対して、今後とも要望していく            ・首都圏渋滞ボトルネック対策協議会の中で、検討していく予定</p>				自動車専用道路の与野ジャンクション以北については都市計画決定がされているものの詳細な整備計画は未定		(2)首都高速埼玉新都心線の第二産業道路から東北自動車道までの延伸について、国への要望を行うとともに、国や県と連絡会議を開催し、路線の必要性について意見交換を実施した。						
(2)首都高速埼玉新都心線の第二産業道路から東北自動車道までの延伸					ルートの選定もなされておらず、環境影響評価及び都市計画決定の手続きも済んでいない状況である事業用地の買収及び見沼に対する配慮が必要								

長距離バスターミナルの設置					都市局 都市計画部 交通政策課	現在の状況							
<p><b>【取組概要】</b>            東日本の中枢都市構想の実現を目指し、長距離バスターミナルの設置に向け以下の調査・検討を開始する。            ①候補地の選定を行う。            ②大宮・さいたま新都心地区における大型バス利用状況の把握を実施する。            ③さいたま市内及び周辺における長距離バスルートの把握を行う。            ④長距離バスターミナルの設置を行う。</p> <p><b>【目指すもの】</b>            ①～④長距離バスターミナルの施設整備を図ることにより、バスの利便性向上を目指す。</p>							<p>(1)長距離バスターミナル未整備のため、本市における長距離バスターミナルのニーズ等を調査した。また埼玉県バス協会及び市内バス事業者へのヒアリング等を実施し、本市における長距離バスターミナルのニーズ等を調査を行った。</p>						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～							
(1)長距離バスターミナルの設置	候補地の選定、大宮・さいたま新都心地区における大型バス利用状況の把握・長距離バスルートの把握	候補地の選定後、概ね2、3年で基本計画・実施計画を策定			用地取得・施設整備・供用開始	用地取得・施設整備・供用開始							

【取組概要】

成田空港、羽田空港へのアクセス強化を図る。

- ①成田空港、羽田空港まで直行できるバス利用状況の把握。
- ②平成25年12月16日に浦和駅西口において出発式が執り行われ、浦和駅・武蔵浦和駅～羽田空港便が運行開始した。
- ③埼玉県が取りまとめている鉄道整備要望では、「大宮駅から成田空港駅間の特急の増発と利用しやすいダイヤの設定」を継続してJR東日本に要望している。
- ④上野東京ラインの羽田空港乗り入れ時に、宇都宮線・高崎線の羽田空港乗り入れをJR東日本に要望する。

【目指すもの】

- ①②長距離バスターミナルの施設整備を踏まえた路線等の実現を図る。
- ③大宮駅から成田空港駅間の特急の増発と利用しやすいダイヤの設定を目指す。
- ④上野東京ラインの羽田空港乗り入れを目指す。

(1)バス事業者との協議・調整の結果として、平成25年12月16日より浦和・武蔵浦和駅～羽田空港便が実現した。

(2)鉄道整備要望を通じJR東日本に対し「大宮駅から成田空港駅間の特急の増発と利用しやすいダイヤ設定」の要望を行っている。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1) 空港へのアクセス強化(バス)	・バスの利用状況の把握 ・浦和駅-羽田空港間の運行開始	長距離バスターミナルの計画に合わせ、空港アクセス強化のためのバス増便など、バス事業者と協議・調整			長距離バスターミナルの施設整備を踏まえた路線等のバス事業者との協議	
(2) 空港へのアクセス強化(鉄道)	鉄道整備要望を通じ、JR東日本に対し要望を実施	上野東京ラインの羽田空港乗り入れ等を新規要望				

3

地下鉄7号線の延伸					政策局 東部地域・鉄道戦略室	現在の状況
4	<b>【取組概要】</b> ①地下鉄7号線の延伸について、浦和美園～岩槻地域の成長・発展に向けた方策と行程表からなる「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」を着実に実行するとともに、位置付けられた各種方策の進行管理を徹底し、プロジェクトの評価を高め、事業着手（鉄道事業者による都市鉄道等利便増進法に基づく申請手続き）に向けて推進する。 ②浦和美園～岩槻成長・発展推進会議による方策展開の方針、進行管理、効果検証などマネジメントを行う。					(1)浦和美園～岩槻地域の成長・発展に向け、浦和美園駅周辺の土地区画整理事業の推進、岩槻駅周辺の歴史・文化にちなんだイベントの開催・観光機能の強化等の各種方策を推進している。 ・浦和美園駅周辺定住人口5,000人(平成26年1月)。 ・岩槻駅周辺交流人口459,000人/年度(平成24年度)。 ・地下鉄7号線延伸線基本計画調査を実施している。
	<b>【目指すもの】</b> ①②平成29年度末までに浦和美園駅周辺の定住人口約8,000人及び企業・教育機関等の誘致、岩槻駅周辺の交流人口約551,000人/年度を目指す。また、鉄道事業の採算性(累積資金収支黒字転換年)30年以内、B/C(費用便益比)1.0以上を目指す。					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1)地下鉄7号線の延伸	「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」に位置付けられた各種方策について、関係機関等と連携しながら戦略的に推進し、地下鉄7号線延伸のプロジェクトの評価を高め、事業着手に向けて推進する				浦和美園～岩槻地域の成長・発展に向けた方策を展開し、定住人口、交流人口の増加を図る	
					・地下鉄7号線の事業着手を目指し、鉄道事業者による都市鉄道等利便増進法の申請手続きのための協議を進める ・岩槻駅までの開業を目指し、鉄道事業者による地下鉄7号線延伸整備事業の支援を行う	

LRTの検討推進					都市局 都市計画部 交通政策課	現在の状況
5	<b>【取組概要】</b> ①平成12年の運輸政策審議会で、今後整備について検討すべき路線として、「東西大宮ルート:大宮～さいたま新都心～埼玉スタジアム2002」が答申されたことを受け、これまでに、軌道系交通システムの必要性や東西交通現況の整理を踏まえ、導入ルートや事業スキームの基本的な考え方と課題の抽出について、検討している。 ②今年度(平成25年度)はこれまでの調査の時点修正を行いながら、費用便益分析に必要な基礎調査を行う。 ③次期交通政策審議会の答申がされた場合は、より具体的な方針を定めるため、検討の深度化を図る。					(1)市は、平成26年度に費用便益分析を行うため、平成25年度時点での時点修正を行っている。
	<b>【目指すもの】</b> ①～③交通政策審議会による整備路線答申の実現を目指す。					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1)LRTの検討推進	費用便益分析に必要な基礎調査の実施	次回交通政策審議会(平成27年)に向け、費用便益分析を行った上で、今後の方針を定める		次期交通政策審議会の答申がなされた場合は、より具体的な方針を定めるため、検討の深度化を図る		

大宮駅グランドセントラルステーション化構想					都市局 都市計画部 交通政策課	現在の状況
6	<b>【取組概要】</b> ①北陸・北海道新幹線開通に伴う新幹線大宮始発の新設で、東京～大宮間のボトルネックの解消を図る。 ②JR東日本に対し、毎年、埼玉県が取りまとめている鉄道整備要望を通じ「新幹線全列車の大宮駅停車」を要望。 ③平成23年12月定例会において採択された請願第39号「JR線と東武野田線との乗り換え改善」を受け、JR東日本、及び東武鉄道に対し、要望活動を実施する。 ④平成25年度より「新幹線大宮始発の新設」について要望活動を実施。 ⑤新幹線の増便等による東日本のハブステーション化を図る。					
	<b>【目指すもの】</b> ①～⑤東日本の交通結節点である大宮駅の利便性向上を目指す。					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度
	(1)大宮駅グランドセントラルステーション化構想 ・新幹線大宮駅始発の新設に向けたファーストステップとしては、臨時便の始発を前提として、JR東日本との協議や調整を進めていく ・JR線と東武野田線の乗り換えをはじめとした駅機能の高度化などの課題解決に向け、関係機関との協議の場を新たに設置する中で、東日本のハブステーション化に向け多方面から研究する				鉄道事業者との協議を整え、構想の具体化を目指す	
	(1)鉄道事業者に対し、「乗り換え改善」を行うとともに、政府へ、「新幹線大宮始発の新設」や「新幹線全列車の大宮駅停車」などの要望を行っている。					

(2)都心・副都心のまちづくりの推進

浦和駅西口再開発の推進					都市局 都心整備部 浦和駅周辺まちづくり事務所	現在の状況	
7	<b>【取組概要】</b> ①浦和駅西口南高砂地区を市街地再開発事業によりビルを組合が整備する。(平成31年度の事業完了を目指す。) ②県庁通りを22mに拡幅し、車道と歩道を整備する。(浦和西口停車場線街路整備事業について、平成28年度の事業完了を目指す。) ③浦和駅東西連絡通路と西口中ノ島地下道とを接続する通路を整備する。(平成29年度の事業完了を目指す。)						
	<b>【目指すもの】</b> ①～③平成31年度までに事業完了						
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
	(1)浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業(組合施行)	組合設立認可	権利変換計画認可	工事着手	整備工事		
(2)都市計画道路浦和西口停車場線街路整備事業(市施行)	事業用地取得		工事着手	整備工事			
(3)浦和駅東西連絡通路、中ノ島接続事業(市施行)	詳細設計		工事着手	整備工事			
	(1)浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業について、平成23年度に都市計画の変更を行った。平成26年1月に組合設立認可を実施し、今後は、権利変換認可を実施する予定である。 (2)浦和西口停車場線街路整備事業について、平成24年に埼玉県より事業認可。現在、事業用地取得を実施している。 (3)浦和駅東西連絡通路、中ノ島接続事業について、平成24年度に調査設計を実施した。今後、詳細設計を実施する予定となっている。						

大宮区役所の建て替え				市民・スポーツ文化局 区政推進室 大宮区役所新庁舎建設準備室			現在の状況
8	<b>【取組概要】</b> ①大宮区役所庁舎(昭和41年建築)は、建物等の老朽化や、耐震診断の結果、震度6強規模の地震で倒壊又は崩壊する危険性が高いと報告されているため、市民と職員の安全確保等から建て替えを行う。  <b>【目指すもの】</b> ①平成27年度末の竣工を目途に事業を進める。						(1)新庁舎基本計画の策定について、最終調整を行っている。埼玉県と、平成24年12月に土地交換及び建築物等の譲与を定めた基本協定書を締結。その後、詳細事項を定める確認書の締結に向け、協議を重ねている。
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	
	(1)大宮区役所の建て替え	・県との協議をより一層重ね、県の理解が得られた後、議会へ確認書締結の報告及び土地交換に係る議案並びに補正予算案を上程 ・基本計画の策定後、基本設計・実施設計を行い、平成27年度末の竣工を目途に建設工事を行う					

大門町2丁目中地区再開発の推進				都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所			現在の状況
9	<b>【取組概要】</b> ①大門町2丁目中地区において、組合施行により商業・業務機能や公共・公益施設を導入した市街地再開発事業の実現を目指す。 ②当事業は「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」に掲げた公共施設再編による「連鎖型まちづくり」を具体化する重要な事業であり、大宮駅東口のリーディングプロジェクトとなることから、市は組合を積極的に支援していく。						(1)平成24年度末までに市街地再開発事業の都市計画を決定した。平成25年度末までに組合設立認可を目指している。
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	
	(1)大門町2丁目中地区再開発の推進	組合設立(事業計画)認可	権利変換計画認可	工事着手	整備工事		

大宮駅西口開発		都市局 都心整備部 大宮駅西口まちづくり事務所					現在の状況	
10	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①大宮駅西口第三地区は、大宮駅の至近にありながら、これまで面的な都市基盤整備は実施されず、土地利用や防災、交通などの課題をかかえており、今後大宮駅周辺地域の将来像の実現に向けた都市づくりを推進するため、「大宮駅西口第三地区まちづくり方針」に基づき、計画的・段階的なまちづくりを推進する。</p> <p>②大宮駅西口第四地区は、大宮駅西口に位置しながらも都市基盤整備が立ち遅れ狭隘道路による交通の混乱、建物の老朽化による防災上の不安等の諸問題を抱えており、これらを解消し、都心地区にふさわしい魅力あるまちづくりを目指すため、土地区画整理事業による都市基盤整備を行う。</p> <p><b>【目指すもの】</b></p> <p>①大宮駅西口第三地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成32年度まで事業が完了するよう支援を行う。</li> </ul> <p>②大宮駅西口第四土地区画整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度までに土地区画整理事業の完了を目指す。</li> </ul>							<p>(1)大宮駅西口第三地区第3-B地区について、平成23年4月に準備組合設立した。現在、都市計画決定に向け協議を行っている。</p> <p>(2)大宮駅西口第三地区第3-A・D地区について、平成25年3月に、準備組合設立を行った。</p> <p>(3)大宮駅西口第四土地区画整理事業について、平成24年度末における事業進捗率は62.5%であり、平成25年度末71.3%(予定)となっている。</p>
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～	
	(1)大宮駅西口第三地区第3-B地区		都市計画決定	本組合設立	権利変換	整備工事	組合解散	
	(2)大宮駅西口第三地区第3-A・D地区							
(3)大宮駅西口第四土地区画整理事業	移転補償、インフラ及び道路整備工事							

大宮駅東口北側開発		都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所					現在の状況	
11	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①概ね銀座通りと大宮岩槻線、JRの線路敷に囲まれた地区において、地元まちづくり団体や鉄道事業者と協働で、新たな改札口の設置も視野に入れた大宮駅北側地区の開発を目指す。</p> <p>②平成34年に「(仮称)駅前広場ガイドライン」を反映した開発計画(案)の成案を目指す。</p> <p><b>【目指すもの】</b></p> <p>①②新たな改札口の設置を視野に入れた駅周辺機能の向上を目指す。</p>							<p>(1)地元まちづくり団体である「大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会」が市街地再開発事業を目指した検討を進めている。</p>
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～	
	(1)大宮駅東口北側開発	東口駅前広場に隣接するまちづくり団体や鉄道事業者と連携しながら、東口駅前広場のあり方やまちづくり動向を踏まえて、北側地区の整備について検討				大宮駅周辺地域戦略ビジョンに基づく「(仮称)駅前広場ガイドライン」を策定し、まちづくり団体を支援	まちづくり団体を支援しながら、大宮駅東口北側の開発を推進	

駅周辺都市計画道路の整備促進

都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所  
都市局 都心整備部 大宮駅西口まちづくり事務所

現在の状況

【取組概要】

駅周辺都市計画道路の整備促進(大宮駅東口周辺の都市計画道路、及び大宮駅西口周辺の都市計画道路)

①-1、①-2 氷川緑道西通線

大宮駅東口周辺の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全で快適な空間の確保、電線類地中化による都市防災機能の強化や良好な都市景観の創出等を図るため、幅員18mの都市計画道路を整備する。

- ・氷川緑道西通線南区分(南大通東線～大宮中央通線について、平成29年度に、一部区間供用開始を目指すとともに、平成30年度に、全区間供用開始を目指す。
- ・氷川緑道西通線北区分(大宮中央通線～大宮岩槻線)について、平成34年度における、用地買収率50%、道路整備30%を目指す。

②-1 西口広路線、②-2 上落合桜木線、②-3、②-4 大宮駅西口第三地区予定2路線

大宮駅西口周辺の交通環境を整え、道路ネットワークを構築するとともに、良好な市街地の形成や防災性の向上をめざし、市街地開発事業に合わせ、都市計画道路を整備する。

- ・西口広路線について、平成30年度に、美装化整備完了を目指す。
- ・上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地内)について、平成30年度に、全区間供用開始を目指す。
- ・上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地外)について、平成34年度に、全区間供用開始を目指す。
- ・大宮駅西口第三地区都市計画道路(予定)について、平成32年度に、全区間供用開始を目指す。

【目指すもの】

①②各事業の推進による渋滞緩和や防災機能向上を図る。

12

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1)氷川緑道西通線南区分(南大通東線～大宮中央通線)	用地買収		インフラ及び道路整備工事			
(2)氷川緑道西通線北区分(大宮中央通線～大宮岩槻線)	用地測量	事業認可	用地買収、道路整備工事(一部区間)			用地買収、インフラ及び道路整備工事
(3)西口広路線	土地区画整理事業の進捗に合わせ、道路の美装化を実施					
(4)上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地内)	インフラ及び道路整備工事					
(5)上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地外)			道路設計、用地買収	用地測量、事業認可協議、建物調査、用地買収、インフラ及び道路整備工事		
(6)大宮駅西口第三地区都市計画道路(予定)	都市計画決定		現況測量、道路設計	用地測量、事業認可協議、建物調査、用地買収、インフラ及び道路整備工事		

(1)氷川緑道西通線南区分(南大通東線～大宮中央通線)について、平成26年1月末時点での用地買収率74.7%であり、平成24年には、道路及び電線共同溝詳細設計を実施した。また平成25年11月より、大宮区役所前の暫定整備を開始した。

(2)氷川緑道西通線北区分(大宮中央通線～大宮岩槻線)について、平成23年度に、地元説明会及び現況測量を実施し、平成25年度には、用地測量を実施した。

(3)西口広路線について、平成20年度に、暫定供用開始している。

(4)上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地内)について、平成24年度に東側歩道一部の供用を開始した。

(5)上落合桜木線大宮駅西口第四土地区画整理地(事業用地外)について、平成24年度に、一部用地買収を実施し、合わせて用地測量を実施した。

(6)大宮駅西口第三地区都市計画道路(予定)について、都市計画決定に向け協議を行っている。



与野本町駅周辺まちづくりマスタープランの策定			都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課				現在の状況
13	<b>【取組概要】</b> ①本プランの策定により、中央区役所を中心とした与野本町駅周辺地区において、歴史や文化などの地域資源と、区役所をはじめとする公共施設の再編などに民間活力を活用し、安心・安全で持続可能なまちづくりを展開する。 ②平成26年度に、与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランの策定を予定しており、アクションプランの策定後、事業を推進する。						(1)(2)平成25年12月に策定委員会条例を制定し、今後、策定委員会の開催を予定している。
	<b>【目指すもの】</b> ①②与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン策定・アクションプランの策定後、事業を推進する。						
	(1)基礎調査の実施、まちづくりあり方懇話会の設置・開催	平成25年度 6. 9. 11月あり方懇話会の開催	あり方懇話会のとりまとめ	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
(2)まちづくりマスタープラン策定	12月マスタープラン策定委員会条例制定	3月策定委員会を開催	策定委員会でマスタープラン素案の検討後、パブリック・コメントを実施し、マスタープランを策定予定	アクションプランの策定予定	アクションプランの推進(～平成32年度)	アクションプランの見直し・推進(平成33年度～)	

岩槻まちづくりマスタープランの推進			都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課				現在の状況
14	<b>【取組概要】</b> ①岩槻まちづくりマスタープランの目指す姿である「城下町の歴史・文化が息づくふれあいのまち」を実現するため、アクションプランを策定し、岩槻ににぎわいをもたらす各事業を推進するとともに、回遊ルートとして岩槻歴史街道構想を検討し、アクションプランに位置付ける。 ②平成26年度に、旧岩槻区役所敷地利用計画の策定を予定している。 ③平成27年度に、岩槻ににぎわいをもたらす回遊ルートを設定する。						(1)平成26年1月に第5回旧岩槻区役所敷地利用計画検討委員会を開催し、敷地利用のコンセプト等について検討しており、引き続き検討委員会を開催していく。  (2)第1期アクションプランについて、全庁照会結果をもとに修正を行い、アクションプランの策定を平成26年3月に予定している。
	<b>【目指すもの】</b> ①～③回遊ルートの設定を始めとして、アクションプランを推進して岩槻ににぎわいをもたらす。						
	(1)旧岩槻区役所敷地の利用計画	平成25年度 旧区役所敷地利用計画検討委員会を開催	平成26年度 検討委員会で敷地利用計画の検討後、パブリック・コメントを実施し、利用計画を策定予定	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	
(2)アクションプランの策定・推進	第1期アクションプランの策定・推進	第1期アクションプランの推進(平成26～29年度) 地元との意見調整を行い、岩槻の歴史・文化によるまちづくりを推進するため、回遊ルートを設定			第2期アクションプランの推進(H30～32年度)		

【取組概要】

①本ビジョンの策定及び推進することにより、さいたま新都心のこれまでのまちづくりの成果、現状の課題、社会情勢などを踏まえつつ、新都心の周辺地区も含め、大宮駅周辺地区と連携し、さらなる安心・安全とにぎわい創出に向けた取組の検討を行うもの。策定後、主要施策は事業として推進する。

【目指すもの】

①平成30年度に、都市公園の開設を目指す。

(1)-1 ビジョン策定に向け、議会報告、パブリック・コメントを実施している。

(1)-2 都市公園整備について、関係機関協議を実施している。

(1)-3 交通広場の整備について、埼玉県バス協会、及び市内バス事業者へのヒアリング等を実施し、本市における長距離バスターミナルのニーズを調査した。

15

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～	
(1)さいたま新都心将来ビジョンの策定及び推進	12月パブリックコメント実施	3月ビジョン策定	防災機能を持った都市公園の整備				
			交通広場の候補地の選定後、概ね2、3年で基本計画・実施計画を策定		用地取得・施設整備・供用開始		

【取組概要】

- ①浦和東部第一特定土地区画整理事業(平成33年度に、換地処分予定)  
・本事業は、交通便利性の向上などにより、商業系・住居系の需要が高まっているため、道路・公園などの都市基盤施設の整備をはじめ、土地の整序を行うことにより、良好な商業・住居・営農環境の形成を図る。
- ②浦和東部第二特定土地区画整理事業(平成28年度末に、事業完了予定)  
・本事業は、土地区画整理事業施行者である、独立行政法人都市再生機構に対し、事業補助金を交付する。
- ③岩槻南部新和西特定土地区画整理事業(平成28年度末に、事業完了予定)  
・本事業は、土地区画整理事業施行者である、独立行政法人都市再生機構に対し、事業補助金を交付する。
- ④大門下野田特定土地区画整理事業(平成32年度に、換地処分予定)  
・本事業は、周辺の交通条件が整っており、周辺では土地区画整理事業が施行中であるため、それぞれの地区と連携した良好な市街地整備を推進するために実施する。

【目指すもの】

- ①～④浦和美園駅周辺において「みそのウイングシティ」として、開発面積約300ha、計画人口3万人の土地区画整理事業を行っており、各土地区画整理事業の本工事完了を目指す。

(1)浦和東部第一特定土地区画整理事業について、平成25年度末における進捗率(総事業費)は、約62%の予定となっている。

(2)浦和東部第二特定土地区画整理事業について、平成25年度末における進捗率(基本事業費)は、約86%の予定となっている。

(3)岩槻南部新和西特定土地区画整理事業について、平成25年度末における進捗率(基本事業費)は、約85%の予定となっている。

(4)大門下野田特定土地区画整理事業について、平成25年度末に、事業認可取得予定となっている。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1)浦和東部第一特定土地区画整理事業	建物等補償、宅地造成、道路整備、保留地処分等				平成33年度換地処分予定	平成38年度事業完了予定 清算期間
(2)浦和東部第二特定土地区画整理事業	独立行政法人都市再生機構への補助金交付			平成28年度事業完了予定		
(3)岩槻南部新和西特定土地区画整理事業	独立行政法人都市再生機構への補助金交付			平成28年度事業完了予定		
(4)大門下野田特定土地区画整理事業	事業認可予定	審議会委員選挙	仮換地指定、建物等補償、文化財調査等	建物移転等、造成、道路整備等	平成32年度換地処分予定	平成37年度事業完了予定 清算期間